

令和8年度（秋）宮崎大学公開講座

「源氏物語

～手習巻(終盤)を読む～」

集中講義予定

会場：錦本町ひなたキャンパス

「源氏物語 ～手習巻(終盤)を読む～」とは、

前回は中将に追い詰められ、浮舟が出家するところまでお話ししました。その後の手習歌にあるように、果たしてこれで浮舟が真に救われたかは、だいぶ怪しいものがありますが、一応の平穏がもたらされたことも確かで、それが続けば、浮舟はその生活を続けたかもしれません。しかし、追い打ちをかけるように物語は進んでいきます。

少し脱線しますが、それは私の博士論文の一部で、普通の方は、物語は主人公の上昇する力（＝出世すること）により進んでいくと思われているかもしれませんが、私見によれば逆で、物語は主人公を追い詰める力（＝負の力）によって進んでいきます。つまり主人公には次々と不幸が降りかかってくるわけで、どうなるのだろうと読者がハラハラと読み進めることで物語は進んでいくのです。だからハッピーエンドというものがあるわけで、ハッピーになったら、物語はエンドするしかないわけです。

そんなわけで浮舟に降りかかる次なる不幸は、横川僧都の口が、思いのほか軽かったことです。僧都はその祈祷の力により、薫の姉・明石中宮の娘・女一宮のところに呼ばれます。そこでボロッと浮舟のことを話してしまったために、たちまちそれは明石中宮から、薫の愛人・小宰相に伝わり、さらには薫へと伝わっていきます。つまり浮舟にとって最大の脅威である薫が遂にその生存を知ってしまうのです。当然薫は、浮舟を迎え取るべく横川僧都に詳細を聞きに向かいます。浮舟はどうなるのか。最終回をお楽しみに。



講師：宮崎大学名誉教授
博士（文学） 山田 利博

	期 日	内 容
第1回	令和8年11月7日（土） （10:30-12:00）	僧都、女一宮に宇治の出来事を語る
第2回	令和8年11月7日（土） （13:00-14:30）	浮舟、紀伊守から薫の噂など聞く
第3回	令和8年11月8日（日） （10:30-12:00）	小宰相、薫に僧都の話語る
第4回	令和8年11月8日（日） （13:00-14:30）	薫、明石中宮に直面し、横川に赴く

受講方法

1. 9月16日(水)から募集を開始します。お電話、FAX、E-mailにてお申込ください。

宮崎大学学び・学生支援機構共創人材育成課

受付時間：9：00～16：00（土日・祝日は除く）

電話：0985-58-7188 FAX：0985-58-7974

E-mail：chiikijinzei@miyazaki-u.ac.jp

申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、その他の目的には利用されません。



2. 受講申込（仮予約）がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

受講料：3,000円（全4回分・消費税込）

入金期日：申込日より1週間

振込先：宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号：57863

受取人：国立大学法人宮崎大学 ダイ)ミヤザキダイガク

電話番号：0985-58-7122

注）銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。

領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

受講料について

受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。

銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。

受講料は返還できませんのでご注意ください。